

## 平成 27 年度（国語）授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な漢字習得が不十分な生徒がいる。</li> <li>・言語に関する知識や能力の習得が不十分な生徒が多い。</li> <li>・文章を読み込んで理解を深め、自分の考えを発展させる力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習ノートを用いた漢字小テストの計画的な実施や、長期休業時の課題を設定する。</li> <li>・反復や小テストなどを行い、確実な習得を目指す。</li> <li>・発問の工夫や、小集団での学び合いを取り入れ、読解活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習が必要な生徒には、別途小学生段階の漢字も含めて復習させる。</li> <li>・ワークなどを用いて家庭学習の充実を図る。</li> <li>・学習の最初と最後に、考えを書いて言語化させ、他者と共有させることにより、自身の読み取りについて客観的に捉えさせる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な漢字習得が不十分な生徒がいる。</li> <li>・文章を書くことに抵抗感がある生徒が多い。</li> <li>・長い文章を読み取ることに苦手意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字小テストの実施や、長期休業時の課題を設定し、基礎学力の定着を図る。</li> <li>・多様な種類の文章にふれ、生活の中で生かせる文章を書かせる。</li> <li>・教科書以外の長文にふれる機会を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の小テスト後の再学習で繰り返しを徹底する。</li> <li>・書いたものを交流することで、新たな視点や発想を広げていく。</li> <li>・読んだだけで終わらない読書の授業を設けていく。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な漢字習得が不十分な生徒がいる。</li> <li>・書くことについて時間内に終わらせることができない生徒が多い。</li> <li>・文学的文章のなかで、特に小説の読解について、主題を的確に読み取ることができない生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次より実施してきた級別漢字レッスンのテストを軸に、漢検3級までの漢字習得を目指し、小テスト等を継続する。</li> <li>・100字～200字の少ない分量の作文課題を出し、15分～20分で書き上げる力を養う。</li> <li>・主人公の心情、情景描写などから、作者が訴えようとしていることを掴みながら読むことを習慣化させる指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要がある生徒については個別の学習会等で漢字学習を繰り返し行っていく。</li> <li>・長い課題を書く際に途中で論理破綻してしまう生徒がいるため、必要がある生徒について指導を行う。</li> <li>・主題について、様々な形で表現させる学習活動を取り入れていく。</li> </ul>